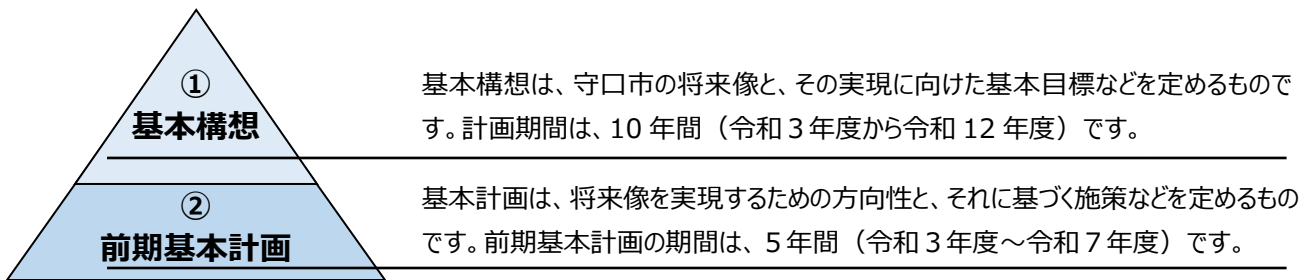


1. 総合基本計画とは

総合基本計画とは、総合的かつ計画的に市政運営を行うための市の最上位計画です。守口市ではこれまで 5 次にわたって総合基本計画を策定し、市政を進めてきました。

社会状況の変化を踏まえ、守口市の新たな未来を描くため、行政だけではなく、市民や議会、企業・団体などといった「オール守口」での協働によるまちづくりの「羅針盤」として策定するものです。

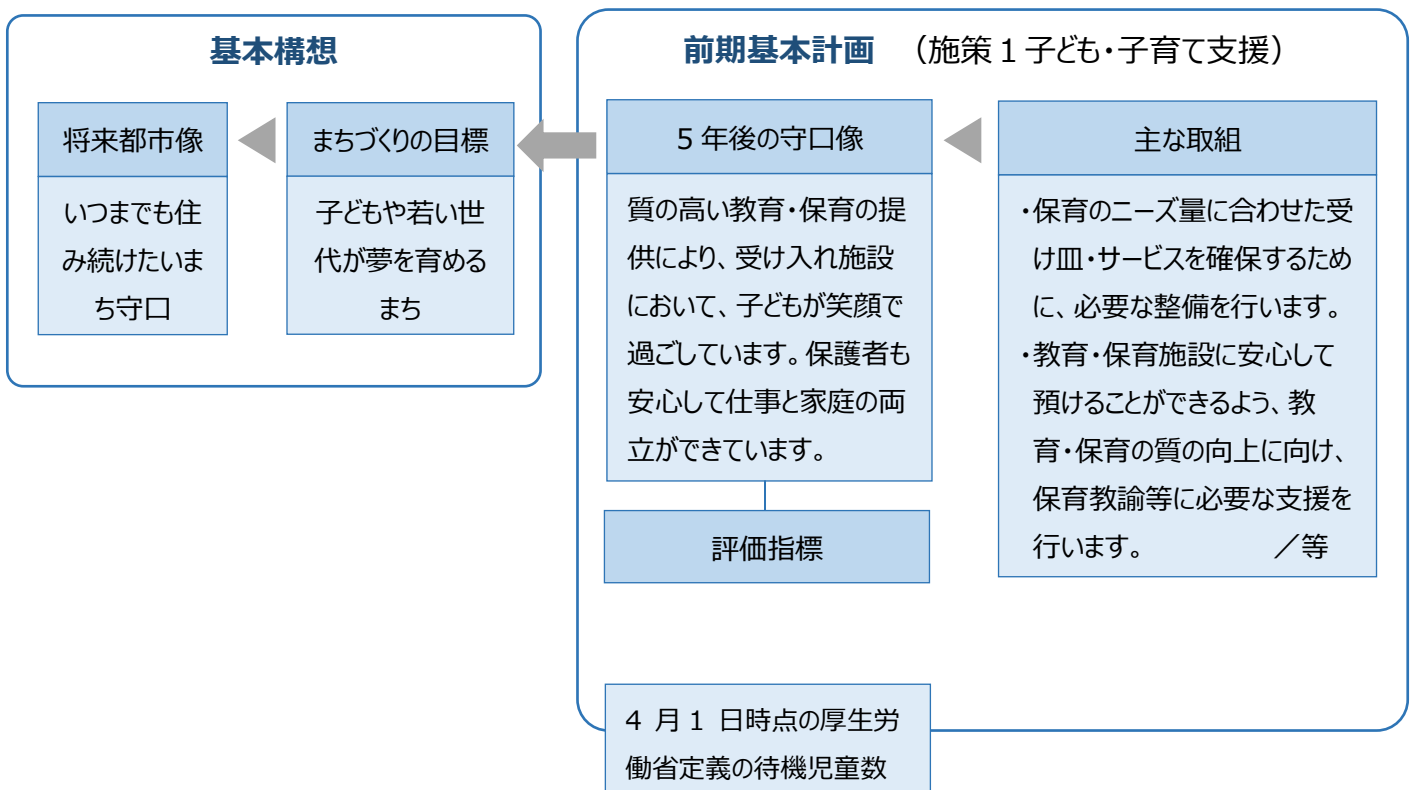
総合基本計画は、①基本構想と②基本計画から構成されます。



2. 基本構想・基本計画では、将来都市像の実現に向けてのストーリーを示しています。

将来都市像「(仮) いつまでも住み続けたいまち守口」の実現に向けての課題を明確化し、その実現に向けての取り組みをストーリーとして整理しました。「5 年後の守口像」の実現状況を測るためのモノサシとして、初めて「評価指標」を総合基本計画に掲載しています。

将来都市像の実現に向けてのストーリー（例）



3. 総合基本計画に掲げる将来都市像の実現を通じて、SDGsの目標の達成に貢献します。

本市においては、総合基本計画に掲げる将来都市像「いつまでも住み続けたいまち守口」の実現に向けて、各施策、各事務事業を進めていくことを通じて、国際社会で取り組んでいるSDGsの目標の達成に貢献します。

そのために、当該施策に関わるSDGsの目標のアイコンを表示しています。

【参考】SDGsについて

SDGs（Sustainable Development Goals、エスディージーズ）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール

